

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年4月10日

事業所名 オーパ・アスリートクラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	活動場所を地域の学校やグラウンドとしています	
	2 職員の配置数は適切である	60%	40%	当日の利用者の変動にも対応しています	人員が少ない場合は他事業所から応援をお願いしたり、求人募集をかけていただいています
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	80%	視覚的、身体的なバリアフリー化を進めています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	職務の朝礼にて職員間での共有をしています	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者等向けアンケートを元に業務改善に努めています	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	80%	20%	ホームページに公開しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	60%	40%	顧問行政書士による定期的な監査を行っています	適宜運営における課題点を指摘していただいております
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	福祉事業団等の配信研修に積極的に参加しています。	社員スタッフが主となり作成することが多いので、関りのあるスタッフにも会議に参加して支援について話し合う機会を設けます	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用者様や保護者様へ聞き取りを行い作成しています	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	大阪府が推奨しているフォーマットを元に工夫を加えたものを使用しています	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	サービス提供に選択制とし3つのチームを設定しています	利用日により年代や性別に幅があるため、複数のプログラムを用意し高い質のサービスを継続的に提案できることを続けていきます
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	サービス提供に選択制とし3つのメニューを常に用意しています	3つのチームに指導担当をつけ、それぞれの特色を生かせる内容となるように日々メニューの選定を行っております
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日、休日等異なるプログラムを用意し固定化しないように進めています	利用者の実態に合わせた提案ができるように日々構築し提案しております
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用者のニーズに合わせて取り組んでいます	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	支援開始前に打ち合わせを行い一日の流れの確認をしています	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0%	100%	送迎の兼ね合いにより全員が参加出来ていません	送迎の兼ね合いにより翌日に情報共有しています。また職員間での連絡ノートを用いて当日以外の職員にも情報共有しております
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	20%	個別支援計画を確認しながら日々の記録と支援の見直しを図っています	社員が中心に記録を残すようにしております
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的にモニタリングと面談を行っています	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	80%	20%	社会経験を養うために複合的に活動しています		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に会議を行っています		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	定期的に学校と情報共有をしています。また方が一に備えられるように日々の支援から共有事項しています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	80%	20%	現在、該当の利用者様はおられません	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	子ども総合支援センターや児童発達支援事業所と連携を取っています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	就労施設への引継ぎを昨年度初めて実施しました。	事前の段取りなど後手になった部分もありましたが適切に継続支援を行っております
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%	子ども総合支援センターと連携を取りながら助言等を受けています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	40%	60%	コロナ禍の為外部との交流は控えています	コロナ禍の為地域の活動には積極的な参加はできませんでしたが、感染状況を加味しながら参加を検討します
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	80%	20%	コロナ禍の為外部との交流は控えています	状況に応じて総括責任者を中心に参加しております
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や公式LINEを用いて情報共有しています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	80%	20%	必要に応じて情報共有しています	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時にしっかりとご説明をさせていただき、ご質問等にもすぐに対応しております	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて随時助言・支援を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	80%	コロナ禍の為外部との交流は控えています	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	何か不具合、不都合が生じた際には早急に対応しています。また再発防止策を立て、徹底しています	日々の利用者様との関わりにおいて、苦情件数0を目標に取り組んでいます。またご指摘をいただいた際には早急に対応していくように心がけております
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	20%	毎月、予定表や通信簿を配布しております。また連絡帳・公式LINEを用いて連絡しています	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報は鍵付きキャビネットを使い保存しています	他の利用者様情報が他者に漏れないように十分に注意しております
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて情報共有しています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	20%	80%	コロナ禍の為外部との交流は控えています	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	60%	40%	緊急時対応マニュアルを保護者様に配布し共有しております	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	60%	40%	定期的に避難訓練を行っています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80%	20%	虐待防止研修への参加を行っています	定期的に職員間でミーティングを行い、利用者様のニーズに合わせた支援を共有しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	安全面を第一優先して行動いたします。配慮が必要な場合がある際には事前に保護者様に確認を取らせていただいております	児童管理責任者を中心に定期的に会議し、やむを得ない状況下を想定した共有をしています。安全で快適な環境を提供できるように努めています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	プログラムに合わせて都度食物アレルギーのアンケートを実施しております	プログラムに合わせて事前に保護者様に確認を取っております
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	80%	20%	系列事業所全体で作成共有しています	方が一起きてしまった場合には再発防止を徹底しております